

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】令和6年7月26日(2024.7.26)

【国際公開番号】WO2023/090247

【出願番号】特願2023-561560(P2023-561560)

【国際特許分類】

B 2 3 B 27/10(2006.01)

B 2 3 B 27/14(2006.01)

B 2 3 C 5/20(2006.01)

B 2 3 C 5/28(2006.01)

B 2 3 B 27/04(2006.01)

10

【F I】

B 2 3 B 27/10

B 2 3 B 27/14 C

B 2 3 C 5/20

B 2 3 C 5/28

B 2 3 B 27/04

【手続補正書】

20

【提出日】令和6年5月10日(2024.5.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1コーナと、第2コーナと、前記第1コーナ及び前記第2コーナに接続された第1辺と、を有する上面と、

30

前記第1辺に接続された前側面と、

前記第1コーナに接続された第1コーナ側面と、

前記第1辺に位置する前切刃と、

前記第1コーナに位置する第1コーナ切刃と、を有し、

前記上面は、

前記上面の外縁に位置し、前記前切刃に沿って延びた前ランド面と、

前記上面の外縁に位置し、前記第1コーナ切刃に沿って延びた第1コーナランド面と

、

前記前ランド面の側から内方に向かって延びた前溝と、

前記第1コーナランド面の側から内方に向かって延びた第1コーナ溝と、を更に有し

40

、

前記第1コーナ溝の長さが、前記前溝の長さよりも短い、切削インサート。

【請求項2】

前記第1コーナ溝は、前記前ランド面と前記第1コーナランド面との境界の側から内方向に向かって延びている、請求項1に記載の切削インサート。

【請求項3】

前記第1コーナ溝が、前記前溝に平行に延びている、請求項2に記載の切削インサート

。

【請求項4】

前記第1コーナ溝の幅が、前記前溝の幅よりも狭い、請求項1又は2に記載の切削イン

50

サート。

【請求項 5】

前記第 1 コーナ溝の深さが、前記前溝の深さと同じである、請求項 4 に記載の切削インサート。

【請求項 6】

前記前溝は、

第 1 前溝と、

前記第 1 前溝よりも前記第 1 コーナの近くに位置する第 2 前溝と、を有し、

前記第 1 前溝の長さが、前記第 2 前溝の長さと同じである、請求項 1 又は 2 に記載の切削インサート。

10

【請求項 7】

前記前溝は、

第 1 前溝と、

前記第 1 前溝よりも前記第 1 コーナの近くに位置する第 2 前溝と、を有し、

前記第 1 前溝の長さが、前記第 2 前溝の長さよりも長い、請求項 1 又は 2 に記載の切削インサート。

【請求項 8】

前記第 2 コーナに接続された第 2 コーナ側面と、

前記第 2 コーナに位置する第 2 コーナ切刃と、を更に有し、

前記上面は、

前記上面の外縁に位置し、前記第 2 コーナ切刃に沿って延びた第 2 コーナランド面と

20

、
前記第 2 コーナランド面の側から内方に向かって延びた第 2 コーナ溝と、を更に有し

、
前記第 2 コーナ溝の長さが、前記前溝の長さよりも短い、請求項 1 又は 2 に記載の切削インサート。

【請求項 9】

前記上面は、

前記第 1 コーナに接続された第 2 辺と、

前記上面の外縁に位置し、前記第 2 辺に沿って延びた横ランド面と、

前記横ランド面の側から内方に向かって延びた横溝と、を更に有し、

前記横溝の長さが前記第 1 コーナ溝よりも長い、請求項 1 又は 2 に記載の切削インサート。

30

【請求項 10】

前記前溝が、前記前切刃から離れ、

前記第 1 コーナ溝が、前記第 1 コーナ切刃から離れている、請求項 1 又は 2 に記載の切削インサート。

【請求項 11】

第 1 端から第 2 端に向かって延びた棒形状であって、前記第 1 端に位置するポケットを有するホルダと、

前記ポケット内に位置する、請求項 1 又は 2 に記載の切削インサートと、を有する切削工具。

40

【請求項 12】

被削材を回転させる工程と、

回転する前記被削材に請求項 11 に記載の切削工具を接触させる工程と、

前記切削工具を前記被削材から離す工程と、を備えた切削加工物の製造方法。

50